2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	（担当課）	（責任者）	（基準日）
（管理番号）	03	06	02	01	000770100	上下水道総務課	大城　秀寛	2025.7.1

政策シート

政策名　02　未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道

予算費目名　01　浜松市下水道事業会計

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野　03　安全・安心・快適

理想の姿（30年後）	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱（10年後）	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策　06　安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要（当年度（2024年度）実施内容）

下水道事業は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。
この施設の適正な維持管理及び建設・改良工事を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生	⑰実施手段								

2 政策コストの状況（千円）

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	28,478,099	28,413,115	27,865,780	27,951,715	27,200,555	27,052,715
決算	28,672,273	28,413,115	27,853,873	27,641,796	27,005,780	26,864,760
人件費(報酬等)(A)	2,521					
人件費（人工分）(B)	63,000	71,400	68,600	65,800	65,800	65,800
年間経費(決算+A+B)	28,737,794	28,484,515	27,922,473	27,707,596	27,071,580	26,930,560

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
企業債残高（億円）	億円	目標	1,561	1,506	1,450	1,392	1,335	1,277
		実績	1,510	1,456	1,400	1,336	1,274	1,217
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度（2024年度）政策評価

(1) 当年度（2024年度）実施内容

下水道事業は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。
この施設の適正な維持管理及び建設・改良工事を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

(2) 政策評価（政策の進捗及び課題）

＜進捗＞　達成

・良好な環境の創造に向けて、下水道・農業集落排水・合併処理浄化増を効果的に整備する総合的な汚水処理を推進するとともに、その財源として企業債の借入を計画的に行った。

（管理番号）

2024年度　分野 03　基本政策 06　政策 02　予算費目 01　所属コード 000770100　（担当課）上下水道総務課　（責任者）大城　秀寛　（基準日）2025.7.1

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト（千円）	事業費（千円）	人工				報酬（千円）
							正規	再任用（31h）	再任用（26h）	会計年度（人事課）	
1	浜松市下水道事業（下水道事業費用）	－	○		14,764,170	14,885,956	9.0			1.0	
2	浜松市下水道事業（資本的支出）	－	○		12,166,390	12,166,759					
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					26,930,560	27,052,715	9.0			1.0	

※人工単価（千円）正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員（人事課予算）2,800

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	01	000770100	01	上下水道総務課	大城　秀寛	2025.7.1

事業シート　（事業名） 01　浜松市下水道事業（下水道事業費用）

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たすため、施設を適正に管理運営し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1967	－	事業会計	自治事務（その他）	下水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。
総合戦略	ー	（施策）

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				
						⑯平和			
事業とゴールの関連性	・適切かつ平等な下水施設・衛生へのアクセス ・効果的 な官民のパートナーシップ								

2 事業コストの状況（千円）

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	15,908,903	15,794,370	15,286,661	15,380,945	15,008,764	14,885,956
	決算	16,105,972	15,794,370	15,275,593	15,071,621	14,814,454	14,698,370
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	11,089,817	10,876,154	10,748,189	10,370,629	10,166,741	10,148,313
	一般会計繰入金	5,016,155	4,918,216	4,527,404	4,700,992	4,647,713	4,550,057
人件費（報酬等）（A）		2,521					
人件費（人工分）（B）		63,000	71,400	68,600	65,800	65,800	65,800
人工	正規	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.0	3.0	2.0	1.0	1.0	1.0
年間経費(決算+A+B)		16,171,493	15,865,770	15,344,193	15,137,421	14,880,254	14,764,170

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
企業債残高（億円）		目標	1,561	1,506	1,450	1,392	1,335	1,277
		実績	1,510	1,456	1,400	1,336	1,274	1,217
職員定数（人）		目標	103	100	97	97	97	97
		実績	100	100	97	95	93	95
防災訓練（研修）の実施回数（回）		目標	1	1	1	1	1	1
		実績	1	1	1	2	1	1
西遠コンセッション事業の導入		目標	コンセッション実施	コンセッション実施	コンセッション実施	コンセッション実施	ー	ー
		実績	コンセッション実施	コンセッション実施	コンセッション実施	コンセッション実施	ー	ー
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	01	000770100	01	上下水道総務課	大城　秀寛	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容　（Do）

〇下水道事業に係る経営管理
・持続可能かつ健全な経営の推進
・今後10年間において目指す方向性、取組内容、財政収支見通しなどを示す「浜松市上下水道基本計画」を策定
〇下水道事業に係る組織・人事管理
・経営の効率化を図るため人員適正化、少数精鋭化
〇災害対策事業
・業務継続計画（BCP）に基づいた職員対応能力向上研修の実施
〇下水道の普及啓発事業
・インフラとしての下水道に対する理解及び安全・安心の啓発

5 当年度（2024年度）事業評価　（Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度　達成

・企業債残高
持続的な下水道経営を行うために耐震化や老朽施設の改築並びにコンセッション整備事業を実施するとともに、計画的な企業債の借入により、目標値を60億円下回る1,217億円となった。
・職員定数については、97人の目標に対して95人の実績となり、計画通り適正化が図られた。
・業務継続計画に基づき、被災時における職員の災害対応能力の向上を目的とした研修を実施した。
・上下水道フェスタをプレ葉ウォーク浜北で開催した。上下水道キッズサイト「すいすいクラブ」を全面的に活用したことで、多くの来場者を集め、下水道に対する理解、安全・安心の啓発に繋がった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化　（新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

・令和7年3月に新たに策定した浜松市上下水道基本計画（計画期間：R7～R16）に基づき、10年後の理想の姿として設定した「安全・安心な上下水道が地域社会の中で健全な水循環に貢献している」を実現できるよう取組を進めていく。

6 事業の見直し（Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目　現状　小項目　　／　　事業費　現状　人工　現状

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目　改善　小項目　その他　／　　事業費　拡大　人工　現状

・令和7年3月に新たに策定した浜松市上下水道基本計画（計画期間：R7～R16）に基づき、10年後の理想の姿として設定した「安全・安心な上下水道が地域社会の中で健全な水循環に貢献している」を実現できるよう取組を進めていく。
・収支状況及び資金残高に関する中長期見通しを定期的に検証する。

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	01	000770100	02	上下水道総務課	大城　秀寛	2025.7.1

事業シート　（事業名） 02　浜松市下水道事業（資本的支出）

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

下水道は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。この施設を適正に管理運営し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1967	－	事業会計	自治事務（その他）	下水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。
総合戦略	―	（施策）

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性									

2 事業コストの状況（千円）

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	12,569,196	12,618,745	12,579,119	12,570,770	12,191,791	12,166,759
	決算	12,566,301	12,618,745	12,578,280	12,570,175	12,191,326	12,166,390
	国・県支出						
	市債	3,269,700	3,138,500	2,979,100	2,851,100	2,361,900	2,227,100
	その他						
	一般財源	8,306,169	8,503,367	8,653,016	8,801,998	8,954,727	9,011,816
	一般会計繰入金	990,432	976,878	946,164	917,077	874,699	927,474
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）							
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		12,566,301	12,618,745	12,578,280	12,570,175	12,191,326	12,166,390

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
企業債残高（億円）		目標	1,561	1,506	1,450	1,392	1,335	1,277
		実績	1,510	1,471	1,400	1,336	1,274	1,217
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号）							
	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	01	000770100	02	上下水道総務課	大城　秀寛	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容 （Do）

〇企業債償還金

5 当年度（2024年度）事業評価 （Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度　達成

・企業債残高

持続的な下水道経営を行うために耐震化や老朽施設の改築並びにコンセッション整備事業を実施するとともに、計画的な企業債の借入により、目標値を60億円下回る1,217億円となった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 （新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

・令和7年3月に新たに策定した浜松市上下水道基本計画（計画期間：R7～R16）に基づき、10年後の理想の姿として設定した「安全・安心な上下水道が地域社会の中で健全な水循環に貢献している」を実現できるよう取組を進めていく。

6 事業の見直し （Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目　現状　小項目　　／　　事業費　現状　人工　現状

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目　改善　小項目　その他　／　　事業費　拡大　人工　現状

・令和7年3月に新たに策定した浜松市上下水道基本計画（計画期間：R7～R16）に基づき、10年後の理想の姿として設定した「安全・安心な上下水道が地域社会の中で健全な水循環に貢献している」を実現できるよう取組を進めていく。

・収支状況及び資金残高に関する中長期見通しを定期的に検証する。

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	02	000770100	上下水道総務課（経営担当）	袴田　敦	2025.7.1

政策シート

政策名　02　未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道

予算費目名　02　下水道会計支出金

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野　03　安全・安心・快適

理想の姿（30年後）	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱（10年後）	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策　06　安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要（当年度（2024年度）実施内容）

生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たすため施設の適正な維持管理及び建設・改良工事を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

(3) 関連するSDGsのゴール

2 政策コストの状況（千円）

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	6,006,698	5,895,094	5,530,938	5,642,511	5,538,713	5,537,052
決算	6,006,587	5,895,094	5,473,568	5,618,070	5,524,824	5,537,052
人件費(報酬等)(A)						
人件費（人工分）(B)						
年間経費(決算+A+B)	6,006,587	5,895,094	5,473,568	5,618,070	5,524,824	5,537,052

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度（2024年度）政策評価

(1) 当年度（2024年度）実施内容

生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たすため、施設の適正な維持管理及び建設・改良工事を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

(2) 政策評価（政策の進捗及び課題）

＜進捗＞　計画通り

繰出基準等に基づき、下水道事業会計支出金を執行した。

2024年度	（管理番号）分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	02	000770100	上下水道総務課（経営担当）	袴田　敦	2025.7.1

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト（千円）	事業費（千円）	人工				報酬（千円）
							正規	再任用（31h）	再任用（26h）	会計年度（人事課）	
1	下水道会計事業出資金	－	－		927,474	927,474					
2	下水道会計事業負担金	－	－		4,609,578	4,609,578					
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					5,537,052	5,537,052					

※人工単価（千円）正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員（人事課予算）2,800

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	02	000770100	01	上下水道総務課（経営担当）	袴田　敦	2025.7.1

事業シート　（事業名） 01　下水道会計事業出資金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	ー	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。
総合戦略	ー	（施策）

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性									

2 事業コストの状況（千円）

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	990,433	976,878	946,164	912,393	874,700	927,474
	決算	990,432	976,878	946,164	912,393	874,699	927,474
	国・県支出						
	市債						
	その他	818,000	899,925	945,900	777,800	694,000	747,800
	一般財源	172,432	76,953	264	134,593	180,699	179,674
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）							
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		990,432	976,878	946,164	912,393	874,699	927,474

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	02	000770100	01	上下水道総務課（経営担当）	袴田　敦	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容　（Do）

5 当年度（2024年度）事業評価　（Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化　（新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

6 事業の見直し（Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目　小項目　／　事業費　人工

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目　小項目　／　事業費　人工

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	02	000770100	02	上下水道総務課（経営担当）	袴田　敦	2025.7.1

事業シート　（事業名） 02　下水道会計事業負担金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	ー	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。
総合戦略	ー	（施策）

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性									

2 事業コストの状況（千円）

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	5,016,265	4,918,216	4,584,774	4,730,118	4,664,013	4,609,578
	決算	5,016,155	4,918,216	4,527,404	4,705,677	4,650,125	4,609,578
	国・県支出				112,524	28,972	
	市債						
	その他	2,748,000	4,087,000	3,722,000	3,437,000	3,555,100	3,549,000
	一般財源	2,268,155	831,216	805,404	1,156,153	1,066,053	1,060,578
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）							
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		5,016,155	4,918,216	4,527,404	4,705,677	4,650,125	4,609,578

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	02	000770100	02	上下水道総務課（経営担当）	袴田　敦	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容　（Do）

5 当年度（2024年度）事業評価　（Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化　（新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

6 事業の見直し（Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目　小項目　／　事業費　人工

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目　小項目　／　事業費　人工

2024年度	（管理番号）分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	03	007705000	お客さまサービス課	大塚　彰男	2025.7.1

政策シート

政策名　02　未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道

予算費目名　03　浜松市下水道事業会計

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野　03　安全・安心・快適

理想の姿（30年後）	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱（10年後）	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策　06　安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要（当年度（2024年度）実施内容）

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、汚水処理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案したうえで、地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備を行い、汚水処理システムの早期概成を目指す。

また、適正な汚水処理施設の改築・更新や耐震化を推進し、持続的な汚水処理システムを構築する。

本政策では、下水道への接続促進及び宅内排水設備工事の事前相談に対する技術的指導や下水道使用に関する監督・指導を行うほか、下水道が整備され供用開始となった区域における受益者負担金の徴収を行う。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									

2 政策コストの状況（千円）

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	261,380	259,475	254,057	274,231	292,961	329,692
決算	239,565	227,621	235,639	255,529	279,393	310,279
人件費(報酬等)(A)						
人件費（人工分）(B)	62,400	61,600	61,600	61,600	66,000	88,660
年間経費(決算+A+B)	301,965	289,221	297,239	317,129	345,393	398,939

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
汚水衛生処理率	%	目標	90.5	91.6	92.3	93.0	93.5	94.0
		実績	87.1	87.7	88.2	88.6	89.1	89.7
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度（2024年度）政策評価

(1) 当年度（2024年度）実施内容

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、汚水処理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案したうえで、地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備を行い、汚水処理システムの早期概成を目指す。

また、適正な汚水処理施設の改築・更新や耐震化を推進し、持続的な汚水処理システムを構築する。

本政策では、下水道への接続促進及び宅内排水設備工事の事前相談に対する技術的指導や下水道使用に関する監督・指導を行うほか、下水道が整備され供用開始となった区域における受益者負担金の徴収を行う。

(2) 政策評価（政策の進捗及び課題）

＜進捗＞　遅れている

政策の指標である汚水衛生処理率は目標に届かなかったが、下水道接続率は、職員による訪問勧奨等の取り組みにより2024(R6)年度目標の97.0%を上回る97.1%を達成した。合併処理浄化槽への設置替えが遅れている理由として、高齢者世帯の割合が多いこと、資材の高騰による工事費用の増加が挙げられる。今後も引き続き訪問勧奨を継続していく。

（管理番号）

2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	03	007705000	お客さまサービス課	大塚　彰男	2025.7.1

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト（千円）	事業費（千円）	人工				報酬（千円）
							正規	再任用（31h）	再任用（26h）	会計年度（人事課）	
1	浜松市下水道事業（下水道事業費用）	－	○		336,216	284,957	8.0	1.1		0.9	
2	浜松市下水道事業（資本的支出）	－	○		62,723	44,735	3.3			1.1	
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					398,939	329,692	11.3	1.1		2.0	

※人工単価（千円）正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員（人事課予算）2,800

2024年度	（管理番号）分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	03	007705000	01	お客さまサービス課	大塚　彰男	2025.7.1

事業シート　（事業名） 01　浜松市下水道事業（下水道事業費用）

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

下水道事業効果を高めるため下水道接続率の向上を図るとともに、適正な宅内排水設備施工のため指定工事人に対する技術的指導及び下水道使用に関する監督・指導を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1967	－	事業会計	自治事務（その他）	下水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。
総合戦略	―	（施策）

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				
事業とゴールの関連性	・公共用水域の水質及び生活環境を保全するため下水道接続率の向上が必要となる								

2 事業コストの状況（千円）

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	210,424	209,093	209,561	225,524	247,099	284,957
	決算	199,272	195,415	200,387	214,209	242,151	273,736
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	199,272	195,415	200,387	214,209	242,151	273,736
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）		52,600	51,800	51,800	44,800	45,600	62,480
人工	正規	7.0	7.0	7.0	6.0	6.0	8.0
	再任用(31h)	1.0				1.0	1.1
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		1.0	1.0	1.0		0.9
年間経費(決算+A+B)		251,872	247,215	252,187	259,009	287,751	336,216

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
下水道水洗化（接続）率　（%）		目標	96.2	96.4	96.6	96.8	96.9	97.0
		実績	96.2	96.4	96.6	96.8	97.0	97.1
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	03	007705000	01	お客さまサービス課	大塚　彰男	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容 （Do）

〇水洗化促進事業
・職員による訪問勧奨の実施（電話による勧奨含む）した。
・下水道使用料と合併処理浄化槽の維持管理費の比較表を記載したチラシを水道使用量の少ない合併処理浄化槽設置世帯を対象に配布した。
〇排水設備工事指定工事人に対する指導・監督事業においては、工事講習会動画を作成し、はままつ動画チャンネル（YouTube）で配信した。
〇排水設備工事の相談・検査業務において、排水設備工事の事前相談に対する技術的指導及び下水道使用に関する監督・指導を実施した。

5 当年度（2024年度）事業評価 （Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

・職員による訪問勧奨を市全体で936戸実施。水洗化率は対前年比で0.1ポイント向上し2024(R6)年度目標の97.0%を上回る97.1%を達成。
・工事講習会動画計4本の平均再生回数は338回/本で、前年度の平均再生回数319回/本から増加。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 （新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

6 事業の見直し （Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目 現状 小項目 ／ 事業費 現状 人工 現状

・新規供用開始区域等、成果に結びつく可能性が高い家屋を対象に訪問勧奨を実施していく。

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目 現状 小項目 ／ 事業費 現状 人工 現状

・引き続き職員による戸別訪問を実施し下水道事業の役割の啓発に力点を置いた丁寧な接続勧奨を実施する。
・より効果的な訪問勧奨の方法の研究結果を基に訪問勧奨を実施する。
・工事講習会動画については、アンケートを実施して動画の内容を充実し、再生回数を増やしていく。

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	03	007705000	02	お客さまサービス課	大塚　彰男	2025.7.1

事業シート　（事業名） 02　浜松市下水道事業（資本的支出）

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

下水道の整備にかかる建設費を受益者負担金として徴収を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1959	―	事業会計	自治事務（その他）	下水道法　等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。

総合戦略	―	（施策）							

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				

事業とゴールの関連性	・下水道の整備にかかる建設費を受益者負担金として徴収を行うこととし、新たな滞納の発生を減らすとともに、滞納分の早期解決を図る。

2 事業コストの状況（千円）

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	50,956	50,382	44,496	48,707	45,862	44,735
	決算	40,293	32,206	35,252	41,320	37,242	36,543
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	40,293	32,206	35,252	41,320	37,242	46,208
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）		9,800	9,800	9,800	16,800	20,400	26,180
人工	正規	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	3.3
	再任用(31h)					1.0	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1
年間経費(決算+A+B)		50,093	42,006	45,052	58,120	57,642	62,723

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	03	007705000	02	お客さまサービス課	大塚　彰男	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容 （Do）

・下水道が整備され供用開始となった区域における受益者負担金の徴収

5 当年度（2024年度）事業評価 （Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 （新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

6 事業の見直し （Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目 現状 小項目 ／ 事業費 現状 人工 現状

下水道受益者負担金については、下水道事業の役割の啓発に努めるとともに、収納率を維持するため、滞納者に対する督促、催告等を実施している

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目 現状 小項目 ／ 事業費 現状 人工 現状

今後も現在の取組みを継続していく。

2024年度	（管理番号）分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	04	007705000	お客さまサービス課	大塚　彰男	2025.7.1

政策シート　政策名　02　未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道

予算費目名　04　浄化槽普及費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野　03　安全・安心・快適

理想の姿（30年後）	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱（10年後）	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策　06　安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要（当年度（2024年度）実施内容）

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、汚水処理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案したうえで、地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備を行い、汚水処理システムの早期概成を目指す。
また、適正な汚水処理施設の改築・更新や耐震化を推進し、持続的な汚水処理システムを構築する。
本政策では、浄化槽の適正な維持管理の確保や合併処理浄化槽の普及を促進するための事業を展開する。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									

2 政策コストの状況（千円）

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	481,635	568,084	305,124	332,042	290,651	308,973
決算	474,393	554,318	251,297	260,407	222,682	134,157
人件費(報酬等)(A)						
人件費（人工分）(B)	42,600	42,600	41,800	37,400	41,000	31,000
年間経費(決算+A+B)	516,993	596,918	293,097	297,807	263,682	165,157

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
汚水衛生処理率	%	目標	90.5	91.6	92.3	93.0	93.5	94.0
		実績	87.1	87.7	88.2	88.6	89.1	89.7
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度（2024年度）政策評価

(1) 当年度（2024年度）実施内容

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、汚水処理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案したうえで、地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備を行い、汚水処理システムの早期概成を目指す。
また、適正な汚水処理施設の改築・更新や耐震化を推進し、持続的な汚水処理システムを構築する。
本政策では、浄化槽の適正な維持管理の確保や合併処理浄化槽の普及を促進するための事業を展開する。

(2) 政策評価（政策の進捗及び課題）

＜進捗＞　遅れている

合併処理浄化槽への設置替えが遅れている理由として、高齢者世帯の割合が多いこと、資材の高騰による工事費用の増加が挙げられる。今後も引き続き訪問勧奨を継続していく。ただし、下水道接続率は、職員による戸別訪問勧奨等の取り組みにより2024(R6)年度目標の97.0%を上回る97.1%となった。

（管理番号）

2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	04	007705000	お客さまサービス課	大塚　彰男	2025.7.1

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト（千円）	事業費（千円）	人工				報酬（千円）
							正規	再任用（31h）	再任用（26h）	会計年度（人事課）	
1	浄化槽維持管理事業	－	－		24,544	19,857	0.7				
2	合併処理浄化槽普及啓発事業	－	－		18,312	739	0.7	2.0		2.0	
3	浄化槽助成事業	－	○		122,301	288,377	1.2				
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					165,157	308,973	2.6	2.0		2.0	

※人工単価（千円）正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員（人事課予算）2,800

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	04	007705000	01	お客さまサービス課	大塚　彰男	2025.7.1

事業シート　（事業名） 01　浄化槽維持管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

浄化槽が本来の機能を発揮し、汚水処理システムの役割を果たすためには、浄化槽法に基づいた適正な維持管理が不可欠であるため、浄化槽関連業に関する事務を適正に執行するとともに、維持管理状況等を把握するための管理台帳を整備する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1985	－	一般会計	法定受託事務　自治事務（その他）	浄化槽法

(3) 事業の位置付け

主要事業	―	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。
総合戦略	―	（施策）

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				
事業とゴールの関連性	・公共用水域の水質及び生活環境を保全するためには、浄化槽の維持管理が必要であるため。								

2 事業コストの状況（千円）

		2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）
事業費(千円)	予算	3,269	2,795	2,576	9,973	19,296	19,857
	決算	3,235	1,961	3,463	9,779	19,038	19,644
	国・県支出						
	市債						
	その他	394	514	1,320	396	420	1,320
	一般財源	2,841	1,447	2,143	9,383	18,618	18,324
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）		9,800	9,800	9,800	9,800	5,600	4,900
人工	正規	1.4	1.4	1.4	1.4	0.8	0.7
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		13,035	11,761	13,263	19,579	24,638	24,544

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）
保守点検契約率（%）		目標	95	95	95	95	95	95
		実績	90.6	91.2	91.3	91.6	92.1	91.9
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	04	007705000	01	お客さまサービス課	大塚　彰男	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容 （Do）

〇浄化槽清掃許可業者及び保守点検登録業者に対する指導業務の実施
　浄化槽関係業者に対して、浄化槽法に基づく維持管理の徹底についての指導を実施した。
　浄化槽保守点検業者講習会の研修実施者を指定し、浄化槽管理士の研修の機会を確保した
〇新築家屋を対象とした維持管理啓発チラシの送付
　2021.4より新築に対する補助金を廃止したことに伴い、保守点検等の契約がされない可能性があるため、設置者に対し適正な維持管理の重要性を説明した啓発チラシ377通を送付。

5 当年度（2024年度）事業評価 （Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度　遅れている

　新築家屋への啓発チラシの送付や戸別訪問等により市民への啓発を実施しているが、保守点検契約率は前年度比で0.2%の減少。 引き続き保守点検率が向上するように市民への啓発を継続していく。
なお、未契約の浄化槽が判明した場合には、浄化槽管理者（市民)へ維持管理を啓発するほか、関係業者への指導も行い、適正な浄化槽の維持管理を進める。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 （新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

　浄化槽法改正に基づき、浄化槽台帳の整備に関する内容が盛り込まれた。現在、浜松市では浄化槽の清掃と法定検査については、浄化槽台帳へ記録しているが、浄化槽の保守点検状況の管理は未実施となっている。

6 事業の見直し （Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目 現状　小項目 　/ 　事業費 現状　人工 現状

　浄化槽清掃許可業者及び保守点検登録業者に対する指導業務は、適正な維持管理を担保するうえで不可欠であるため、浄化槽保守点検業者講習会の研修実施者を指定し、浄化槽管理士の知識・技術の向上を図った。

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目 現状　小項目 　/ 　事業費 現状　人工 現状

　市が指定した研修実施者による保守点検業者講習会の受講状況を管理することで、事業者の知識・技術の積み上げを図り、浄化槽が適正に機能するよう務める。

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	04	007705000	02	お客さまサービス課	大塚　彰男	2025.7.1

事業シート　（事業名） 02　合併処理浄化槽普及啓発事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

浄化槽の適正な維持管理の確保や合併処理浄化槽の普及には市民の理解、協力が不可欠であることから、市民の汚水処理に対する関心を高めるため、戸別訪問などの普及啓発事業を展開する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2013	－	一般会計	自治事務（その他）	浄化槽法

(3) 事業の位置付け

主要事業	―	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。
総合戦略	―	（施策）

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				
事業とゴールの関連性	・公共用水域の水質及び生活環境の保全を推進するため、単独処理浄化槽や汲み取り便槽から合併処理浄化槽への設置替えを促進する必要がある。								

2 事業コストの状況（千円）

		2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）
事業費(千円)	予算	601	600	615	596	673	739
	決算	514	490	510	517	574	612
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	514	490	510	517	574	612
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）		27,200	27,200	26,400	22,000	25,600	17,700
人工	正規	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7
	再任用(31h)	6.0	6.0	5.0	3.0	4.0	2.0
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			1.0	2.0	2.0	2.0
年間経費(決算+A+B)		27,714	27,690	26,910	22,517	26,174	18,312

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）
戸別訪問件数（件）		目標	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
		実績	8,600	9,549	5,341	12,437	8,823	6,460
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	04	007705000	02	お客さまサービス課	大塚　彰男	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容　（Do）

〇戸別訪問による合併処理浄化槽への設置替えについての啓発及び維持管理指導
　・下水道事業計画区域外の地域における単独処理浄化槽世帯やくみ取式トイレ使用世帯に対し、合併処理浄化槽への設置替え促進のための訪問を実施。
　・浄化槽法で定められている浄化槽管理者の適正な維持管理（保守点検、清掃、水質検査）を周知啓発するため、浄化槽管理者宅への訪問を実施。
〇出前講座
　・浄化槽による生活排水対策について市民を対象とした出前講座を2回実施。

5 当年度（2024年度）事業評価　（Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度　遅れている

戸別訪問件数は目標7,500件に対し、6,460件の訪問件数となったが、合併処理浄化槽の必要性と設置替えの補助金制度について、丁寧な説明勧奨を行うとともに維持管理の重要性を啓発指導を実施。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化　（新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

6 事業の見直し（Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目　現状　小項目　　/　　事業費　現状　人工　現状

単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への設置替えには法的義務がないことから（努力義務）、合併処理浄化槽の普及を促進するには、市民の理解と主体的な行動を促す必要があるため、戸別訪問により、周知・啓発を実施していく。

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目　現状　小項目　　/　　事業費　現状　人工　現状

戸別訪問職員の体制を維持するとともに浄化槽台帳の情報を活用して訪問の対象を選定するなど、効率的かつ効果的な啓発を実施する。

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	04	007705000	03	お客さまサービス課	大塚　彰男	2025.7.1

事業シート　（事業名） 03 浄化槽助成事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

汚水処理の早期概成のためには、下水道事業計画区域外の合併処理浄化槽の普及促進が不可欠である。
しかしながら、浄化槽設置費用の負担が合併処理浄化槽の普及が進まない主な要因となっている。
このため、浄化槽設置者に対して補助金を交付することによって、市民の負担を軽減し、合併処理浄化槽の普及を促進させる。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1988	－	一般会計	自治事務（その他）	浄化槽法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	―	（施策）							

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				
事業とゴールの関連性	・公共用水域の水質汚濁を防止するため、生活を拠点とした建物に設置されている単独処理浄化槽やくみ取便槽から合併処理浄化槽への設置替えに係る工事費用の一部について補助金を交付することにより、適正な汚水処理を推進する。								

2 事業コストの状況（千円）

		2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）
事業費(千円)	予算	477,765	564,689	301,933	321,473	270,682	288,377
	決算	470,644	551,867	247,324	250,111	203,070	113,901
	国・県支出	84,636	140,726	113,426	124,186	102,827	57,167
	市債	362,000	373,700				
	その他	5,700	6,500	2,200	2,000		670
	一般財源	18,308	30,941	131,698	123,925	100,243	56,064
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）		5,600	5,600	5,600	5,600	9,800	8,400
人工	正規	0.8	0.8	0.8	0.8	1.4	1.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		476,244	557,467	252,924	255,711	212,870	122,301

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）
合併処理浄化槽設置基数		目標	26,300	27,600	28,900	30,200	31,500	32,800
		実績	24,163	25,196	26,077	26,985	27,686	28,314
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	04	007705000	03	お客さまサービス課	大塚　彰男	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容 （Do）

〇浄化槽設置整備事業
　下水道事業計画区域外及び農業集落排水処理区域外で、50人槽以下の合併処理浄化槽を設置する市民に対し、槽の大きさごとに定められた補助金を交付する。
　公共用水域への水質汚濁負荷の高い単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽への設置替えに対し工事費用の一部を補助する。

5 当年度（2024年度）事業評価 （Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度　遅れている

　合併処理浄化槽設置基数は目標値の32,800基に届かなかったが、設置基数は前年比で628基の増となっていることから、着実に合併処理浄化槽の普及が進んでいる。
　また、令和6年度の設置替え補助基数は計画(予算)260基に対し169基。
　設置替え対する補助2021年4月より、補助制度を改正し、補助対象を50人槽まで拡大するとともに、新たに宅内配管工事費も補助対象としているが、工事費については補助金のみでは賄えず自己負担伴うことや高齢世帯が多く設置替えに消極的であることが課題。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 （新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

6 事業の見直し （Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目 現状　小項目 　／　事業費 現状　人工 現状

・合併処理浄化槽の普及を促進するには、市民の理解と主体的な行動を促す必要があるため、訪問勧奨を通して、引き続き、丁寧な設置替え勧奨を実施していく。

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目 現状　小項目 　／　事業費 現状　人工 現状

・引き続き、宅内配管費補助などの国庫補助メニューを活用して、単独処理浄化槽及びくみ取便槽から合併処理浄化槽への設置替えに係る補助金制度を継続する。
・職員による戸別訪問時に補助金制度の内容を丁寧に説明し、合併処理浄化槽の普及促進を図る。

2024年度	（管理番号）分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	06	007720000	下水道工事課	久保田　茂	2025.7.1

政策シート

政策名　02　未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道

予算費目名　06　浜松市下水道事業会計

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野　03　安全・安心・快適

理想の姿（30年後）	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱（10年後）	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策　06　安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要（当年度（2024年度）実施内容）

・快適な生活環境を保つための下水道の整備
・現状施設の機能を適切に保持していくための改築更新・耐震化
・下水道管きょの適正な維持管理

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									

2 政策コストの状況（千円）

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	6,591,396	7,727,958	7,073,972	6,446,970	6,680,657	7,951,174
決算	6,107,766	6,866,646	6,170,217	6,091,356	6,404,505	6,567,056
人件費(報酬等)(A)						
人件費（人工分）(B)	299,600	299,600	285,600	292,600	279,400	286,400
年間経費(決算+A+B)	6,407,366	7,166,246	6,455,817	6,383,956	6,683,905	6,853,456

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
基幹管路の耐震化適合率	%	目標	88.7	99	99.4	99.4	99.4	99.5
		実績	98.9	99.4	99.4	99.4	99.4	99.5
下水道人口普及率	%	目標	81.2	81.3	81.4	81.5	81.7	82.0
		実績	81.1	81.3	81.4	81.5	81.7	82.0
		目標						
		実績						

4 当年度（2024年度）政策評価

(1) 当年度（2024年度）実施内容

・快適な生活環境を保つための下水道の整備
・現状施設の機能を適切に保持していくための改築更新・耐震化
・下水道管きょの適正な維持管理

(2) 政策評価（政策の進捗及び課題）

＜進捗＞　計画通り

下水道の整備では、下水道人口普及率が目標82.0%に対し実績82.0%であった。また、現状施設の耐震化、改築・更新事業を実施し、基幹管路の耐震化適合率は目標99.5%に対し実績は99.5%であった。維持管理においては、浜松市下水道管路維持管理計画（管路調査編）に基づいた計画的な巡視及び点検・調査を実施した。

（管理番号）

2024年度　分野 03　基本政策 06　政策 02　予算費目 06　所属コード 007720000　（担当課）下水道工事課　（責任者）久保田　茂　（基準日）2025.7.1

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト（千円）	事業費（千円）	人工				報酬（千円）
							正規	再任用（31h）	再任用（26h）	会計年度（人事課）	
1	浜松市下水道事業（下水道事業費用）	－	○		779,248	813,013	5.0				
2	浜松市下水道事業（資本的支出）	○	○		6,074,208	7,138,161	35.0	1.0		1.0	
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					6,853,456	7,951,174	40.0	1.0		1.0	

※人工単価（千円）正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員（人事課予算）2,800

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	06	007720000	01	下水道工事課	久保田　茂	2025.7.1

事業シート　（事業名） 01　浜松市下水道事業（下水道事業費用）

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・下水道管きょの適正な維持管理

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1959	―	事業会計	自治事務（その他）	下水道法　等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。
総合戦略	―	（施策）

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				
事業とゴールの関連性	水環境改善のため、汚水処理施設の未普及地域において、下水道、集落排水、浄化槽等の汚水処理施設の適切な役割分担の下、効率的な汚水処理施設整備を実施する。								

2 事業コストの状況（千円）

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	530,624	635,482	619,143	672,385	749,286	813,013
	決算	506,948	597,368	591,672	670,674	741,828	744,248
	国・県支出		17,930	5,423	2,145	14,054	25,601
	市債						
	その他	154	154	70	12	95	12
	一般財源	506,794	579,284	586,179	668,517	727,679	718,635
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）		35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000
人工	正規	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		541,948	632,368	626,672	705,674	776,828	779,248

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	06	007720000	01	下水道工事課	久保田　茂	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容　（Do）

〇管きょ維持管理事業
・予防保全型の維持管理の実施
・教育現場等への積極参加

5 当年度（2024年度）事業評価　（Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度　計画通り

・浜松市下水道管路維持管理計画（管路調査編）に基づき、計画的な巡視及び点検・調査を実施した。
・例年開催している「みんなの下水道教室」の令和6年度開催実績は、小学校54校に実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化　（新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

6 事業の見直し（Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目　現状　小項目　／　事業費　現状　人工　現状

全国の各政令市の状況等の先進事例等を確認しながら、浜松市下水道管路維持管理計画（管路調査編）に基づき、計画的な巡視及び点検・調査を実施した。

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目　現状　小項目　／　事業費　現状　人工　現状

増大する下水道施設の維持管理において、全国の各政令市の状況等の先進事例等を確認しながら、事業費、人工の縮小に繋げるための情報収集と分析に努めていきたい。

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	06	007720000	02	下水道工事課	久保田　茂	2025.7.1

事業シート　（事業名） 02　浜松市下水道事業（資本的支出）

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・快適な生活環境を保つための下水道の整備
・現状施設の機能を適切に保持していくための改築更新・耐震化

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1959	―	事業会計	自治事務（その他）	下水道法　等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	（施策）	Ⅲ−1(1)ア						

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				
事業とゴールの関連性	水環境改善のため、汚水処理施設の未普及地域において、下水道、集落排水、浄化槽等の汚水処理施設の適切な役割分担の下、効率的な汚水処理施設整備を実施する。								

2 事業コストの状況（千円）

		2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）
事業費(千円)	予算	6,060,772	7,092,476	6,454,829	5,774,585	5,931,371	7,138,161
	決算	5,600,818	6,269,278	5,578,545	5,420,682	5,662,677	5,822,808
	国・県支出	2,062,888	2,234,884	2,251,589	1,817,484	2,003,939	2,385,719
	市債						
	その他	91,018	41,755	42,918	47,163	45,807	18,506
	一般財源	3,446,912	3,992,639	3,284,038	3,556,035	3,612,931	3,418,583
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）		264,600	264,600	250,600	257,600	244,400	251,400
人工	正規	37.0	37.0	35.0	36.0	34.0	35.0
	再任用(31h)					1.0	1.0
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0
年間経費(決算+A+B)		5,865,418	6,533,878	5,829,145	5,678,282	5,907,077	6,074,208

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）
基幹管渠の耐震化適合率（%）	Ⅲ−1(1)ア	目標	88.7	99	99.4	99.4	99.4	99.5
		実績	98.9	99.4	99.4	99.4	99.4	99.5
下水道人口普及率（%）		目標	81.2	81.3	81.4	81.5	81.7	82
		実績	81.1	81.3	81.4	81.5	81.7	82
都市部における雨水調整池や排水ポンプ等整備率（%）（安間川・高塚川流域）		目標	85	92	100	100	100	100
		実績	86	88	100	100	100	100
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	06	007720000	02	下水道工事課	久保田　茂	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容　（Do）

〇地震対策事業　［R6決算380,619千円（うち前年度繰越94,084千円）］
　・処理場、ポンプ場等の耐震化の推進
〇施設及び管きょ改築更新事業　［R6決算3,055,316千円（うち前年度繰越1,823,867千円）］
　・処理場、ポンプ場、管きょのストックマネジメント計画に基づく改築・更新の実施
〇未普及対策事業（管きょ整備・施設整備・取付管設置）　［R6決算1,421,711千円（うち前年度繰越408,811千円）］
　・浜松市汚水処理10年プランに基づく効率的な下水道整備の実施
〇浸水対策事業　［R6決算20,851千円（うち前年度繰越9,790千円）］
　・関連部署と連携した内水対策の推進（ハード対策）及び浸水被害軽減対策の推進（ソフト対策）
〇コンセッション整備事業　［R6決算1,378,841千円（うち前年度繰越534,060千円）］
　・西遠浄化センター改築・更新の実施

5 当年度（2024年度）事業評価　（Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度　計画通り

下水道基幹管路の耐震化適合率については、下水道整備済区域内の防災拠点と下水処理場・ポンプ場とを結ぶ管きょの総延長に対して、診断及び対策により耐震性能が確保されている,既存管きょの延長の割合が99.5%である。また、下水道人口普及率については、行政人口に対する下水道が利用できる人口の割合であり82.0%となった。下水道基幹管路の耐震化適合率及び、下水道人口普及率については、計画通り進捗している。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化　（新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

6 事業の見直し（Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目　現状　小項目　　/　　事業費　現状　人工　現状

浜松市下水道総合地震対策計画に基づく地震対策の推進及び浜松市汚水処理10年プランに基づく効率的な下水道整備を実施した。

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目　現状　小項目　　/　　事業費　現状　人工　現状

西遠処理区の施設運営におけるコンセッション（官民連携）事業、浜松市汚水処理10年プランに基づく下水道整備、ストックマネジメント対策、総合地震対策等により更なる事業の効率化を図るとともに、社会資本整備総合交付金制度の活用など中部地方整備局との調整を進め、交付金の拡充に努めていきたい。

2024年度	（管理番号）分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	07	007730000	下水道施設課	鈴木　克巳	2025.7.1

政策シート

政策名　02　未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道

予算費目名　07　浜松市下水道事業会計

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野　03　安全・安心・快適

理想の姿（30年後）	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱（10年後）	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策　06　安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要（当年度（2024年度）実施内容）

・常に経済性を発揮するとともに環境の負荷を低減するために、下水道施設のポンプ場及び下水処理場を適正に管理運営する。また、適正な放流水質維持のため、下水処理場への流入水質が異常でないことを監視する。
・温室効果ガス排出量の削減。
　中部浄化センター・舘山寺浄化センターのエネルギー消費原単位（電力）で、毎年1%以上、2013年度を基準に2024年度までに16%削減する。
・下水処理場における再生可能エネルギー利用技術の導入可能性を検討。
・下水汚泥の100%再生利用の継続。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									

2 政策コストの状況（千円）

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	1,670,662	1,666,394	1,937,656	2,035,339	2,026,235	2,065,790
決算	1,617,144	1,603,592	1,870,655	1,957,539	1,995,426	1,934,661
人件費(報酬等)(A)						
人件費（人工分）(B)	181,000	176,800	152,000	153,600	146,600	154,400
年間経費(決算+A+B)	1,798,144	1,780,392	2,022,655	2,111,139	2,142,026	2,089,061

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
エネルギー消費原単位（電力）削減率（対2013年度比）	%	目標	12（R2）	12	13	14	15	16
		実績	12.3	14.4	14.0	17.9	25.2	23.2
下水処理場への流入水質異常件数	件	目標	0	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0	0	0	0
下水汚泥の100%再生利用	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	100

4 当年度（2024年度）政策評価

(1) 当年度（2024年度）実施内容

・常に経済性を発揮するとともに環境の負荷を低減するために、下水道施設のポンプ場及び下水処理場を適正に管理運営する。また、適正な放流水質維持のため、下水処理場への流入水質が異常でないことを監視
・温室効果ガス排出量の削減:中部浄化センター・舘山寺浄化センターのエネルギー消費原単位（電力）を毎年1%以上、2013年度を基準に2024年度までに16%削減
・下水処理場における再生可能エネルギー利用技術の導入可能性を検討
・下水汚泥の100%再生利用の継続

(2) 政策評価（政策の進捗及び課題）

＜進捗＞　計画通り

・適切な維持管理の取組みや省エネ機器の導入によりエネルギー消費原単位（電力）を2013年度比から、23.2%削減した。
・研究会参加等情報収集すると共に、下水処理場における再生可能エネルギー利用技術の導入可能性を検討した。
・ポンプ場及び下水処理場を適正に管理運営し、事業場排水の監視を行い、流入水質異常は発生しなかった。
・下水汚泥の再生利用100%を継続中であるが農業利用等の下水汚泥の利活用についても取組みを進めていく。

（管理番号）

2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	07	007730000	下水道施設課	鈴木　克巳	2025.7.1

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト（千円）	事業費（千円）	人工				報酬（千円）
							正規	再任用（31h）	再任用（26h）	会計年度（人事課）	
1	浜松市下水道事業（下水道事業費用）	－	○		2,089,061	2,065,790	20.0	4.0		0	
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					2,089,061	2,065,790	20.0	4.0			

※人工単価（千円）正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員（人事課予算）2,800

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	07	007730000	01	下水道施設課	鈴木　克巳	2025.7.1

事業シート　（事業名） 01　浜松市下水道事業（下水道事業費用）

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

下水道施設のポンプ場及び終末処理場を適正に管理運営し、もって都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の保全に資することを目的とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1967	ー	事業会計	自治事務（その他）	下水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。
総合戦略	ー	（施策）

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				

事業とゴールの関連性	下水道処理施設を適切に維持管理して生活排水等を適切に浄化処理することにより、公共用水域の水質保全を図るだけでなく、水、資源、エネルギーの集約自立供給化による持続可能な循環型社会の構築に貢献する。

2 事業コストの状況（千円）

		2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）
事業費(千円)	予算	1,670,662	1,666,394	1,937,656	2,035,339	2,026,235	2,065,790
	決算	1,617,144	1,603,592	1,870,655	1,957,539	1,995,426	1,934,661
	国・県支出	3,550	3,600	3,575	3,575	3,960	6,380
	市債						
	その他						
	一般財源	1,613,594	1,599,992	1,867,080	1,953,964	1,991,466	1,928,281
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）		181,000	176,800	152,000	153,600	146,600	154,400
人工	正規	23.0	22.0	20.0	20.0	19.0	20.0
	再任用(31h)	4.0	4.0	1.0	3.0	3.0	4.0
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.0	3.0	3.0	1.0	1.0	0
年間経費(決算+A+B)		1,798,144	1,780,392	2,022,655	2,111,139	2,142,026	2,089,061

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）
中部・舘山寺浄化センターのエネルギー消費原単位（電力）削減率（対2013年度比：%）		目標	12（R2）	12	13	14	15	16
		実績	12.3	14.4	14.0	17.9	25.2	23.2
下水処理場への流入水質異常件数（件）		目標	0	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0	0	0	0
下水汚泥の100%再生利用（%）		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	100
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	07	007730000	01	下水道施設課	鈴木　克巳	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容　（Do）

・市内18箇所（中、南、北、西、御前谷、上島雨水、湖東、村櫛、都田、和地、瞳ケ丘、観月園、蓬莱園、弁天島、西ケ崎、金指、浜名、阿蔵）のポンプ場施設の維持管理事業
・浜松市地球温暖化対策実行計画に記載されている、大規模施設である中部・舘山寺浄化センターのエネルギー消費原単位（電力）を、2013年度基準で毎年度1%削減し、2024年度までに16%削減する。
・市内6箇所（西遠、中部、舘山寺、細江、井伊谷、三ヶ日）の終末処理場から排出される放流水の適正な水質維持のため、下水処理場への流入水質が異常でないことを監視する。
・事業場排水検査及び除害施設等の設置許認可事業。

5 当年度（2024年度）事業評価　（Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度　計画通り

・包括的民間委託の導入により、民間の創意工夫によるエネルギー消費原単位（電力）削減の効果を得ることができた。
・地球温暖化対策として、大規模施設である中部・舘山寺浄化センターにおけるポンプなどの主要設備更新に合わせて、省エネ機器の導入を図り、エネルギー消費原単位（電力）を2013年度比で23.2%削減できた。
・適切な水質維持に向けて、事業場排水に立入検査を行い、各下水処理場への流入水質に異常が発生することもなく、適正な放流水質を維持できた。
・下水汚泥の100%再生利用を推進し、農業利用等下水汚泥の利活用も実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化　（新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

・新型コロナの流行は終息したが、観光人口の多い舘山寺処理区では流入水量の減少によりエネルギー消費原単位が増加する可能性があったが、省エネ機器導入によりエネルギー消費原単位を削減することができた。

6 事業の見直し（Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目　現状　小項目　現状　/　現状　事業費　拡大　人工　現状

.・主ポンプ、送風機等の設備更新に合わせた省エネ機器の導入等により、エネルギー消費原単位（電力）の削減率が2013年度比で16%削減の目標を達成することができたが、流入量の急減や流入汚濁負荷量増加の影響を受けエネルギー使用原単位の増加リスクが存在する。また、老朽化した設備の突発故障停止による運転負荷の増加を防止するため、様々な維持管理情報を収集し予防保全的維持修繕と計画的な改築更新を推進し、既存設備の能力を十分発揮し安定した効率的な運転管理を進める環境を整備する必要がある。

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目　改善　小項目　改修・更新　/　業務改善　事業費　拡大　人工　現状

・合流式である中部浄化センターの公共的使命である汚水処理と処理地域内の浸水防除という2つの命題を、放流水質基準を遵守しつつ、降雨時対応の運転手順等を見直し、明確化したうえで、維持管理受託者と共有し、より最適な運転管理をする。
・施設の老朽化に対し計画的な予防保全的維持修繕の実施により突発故障停止リスクを軽減し、既存設備の能力を十分に発揮した安定した効率的な運転管理を行う。

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	08	007750000	北部上下水道課	村田　卓史	2025.7.1

政策シート

政策名　02　未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道

予算費目名　08　浜松市下水道事業会計

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野　03　安全・安心・快適

理想の姿（30年後）	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱（10年後）	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策　06　安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要（当年度（2024年度）実施内容）

・公共下水道への接続促進
・公共下水道マンホール等の維持管理
・公共下水道取付管申請による取付管の設置

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									

2 政策コストの状況（千円）

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	85,216	86,094	89,314	93,734	176,588	112,897
決算	68,379	74,958	86,486	89,602	147,448	116,386
人件費(報酬等)(A)						
人件費（人工分）(B)	42,000	35,000	35,000	35,000	42,000	42,000
年間経費(決算+A+B)	110,379	109,958	121,486	124,602	189,448	158,386

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
下水道水洗化（接続）率	%	目標	96.2	96.4	96.6	96.8	96.9	97
		実績	96.2	96.4	96.6	96.8	97	97.1
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度（2024年度）政策評価

(1) 当年度（2024年度）実施内容

・公共下水道への接続促進
・公共下水道マンホール等の維持管理
・公共下水道取付管申請による取付管の設置

(2) 政策評価（政策の進捗及び課題）

＜進捗＞　計画通り

下水道水洗化（接続）率は、職員による勧奨等の取り組みにより目標を達成した。

（管理番号）

2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	08	007750000	北部上下水道課	村田　卓史	2025.7.1

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト（千円）	事業費（千円）	人工				報酬（千円）
							正規	再任用（31h）	再任用（26h）	会計年度（人事課）	
1	浜松市下水道事業（下水道事業費用）	－	○		22,281	16,219	1.0				
2	浜松市下水道事業（資本的支出）	－	○		136,105	96,678	5.0				
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					158,386	112,897	6.0				

※人工単価（千円）正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員（人事課予算）2,800

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	08	007750000	01	北部上下水道課	村田　卓史	2025.7.1

事業シート　（事業名） 01　浜松市下水道事業（下水道事業費用）

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

下水道事業効果を高めるため水洗化率（接続率）の向上を図るとともに、公共下水道施設の維持管理を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1967	－	事業会計	自治事務（その他）	地方公営企業法・下水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。

総合戦略	－	（施策）							

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				

事業とゴールの関連性	・水環境改善のため、下水道の接続を促進する。

2 事業コストの状況（千円）

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	15,027	14,942	14,034	22,824	18,767	16,219
	決算	14,263	13,277	13,207	22,654	18,018	15,281
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	14,263	13,277	13,207	22,654	18,018	15,281
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）		7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
人工	正規	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		21,263	20,277	20,207	29,654	25,018	22,281

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
下水道水洗化率（接続）率（%）		目標	96.2	96.4	96.6	96.8	96.9	97
		実績	96.2	96.4	96.6	96.8	97	97.1
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	08	007750000	01	北部上下水道課	村田　卓史	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容 （Do）

〇水洗化促進事業
・職員等による訪問勧奨の実施
〇下水道施設維持管理事業
・マンホール蓋等の下水道施設修繕業務

5 当年度（2024年度）事業評価 （Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度　計画通り

〇水洗化促進事業
文書郵送による接続勧奨を実施した。
これらの取り組みにより、対象者から接続相談等を受け下水道接続に繋がった。また、水洗化率は対前年比で0.1ポイント向上しR6年度目標の97.0%を達成した。
〇下水道施設維持管理事業
事故を未然に防止するため下水道施設パトロールを強化し実施した結果、老朽化したマンホール等の不具合箇所を多数発見し改善を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 （新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

人件費、資材等の価格上昇による工事費の増加

6 事業の見直し （Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目 現状　小項目 　/ 　事業費 現状　人工 現状

接続勧奨の実施により目標を達成したが、接続率向上のため、今後も勧奨先への通知及び訪問を継続する。

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目 現状　小項目 　/ 　事業費 現状　人工 現状

引き続き下水道への接続勧奨を実施し、合わせて効率的な職員の訪問勧奨を実施する。
下水道施設の不良、管きょ閉塞による汚水の滞留等により、市民生活へ影響を及ぼさないよう定期的なパトロールを継続し、計画的な修繕を実施する。

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	08	007750000	02	北部上下水道課	村田　卓史	2025.7.1

事業シート　（事業名） 02　浜松市下水道事業（資本的支出）

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

事業目的
　公共下水道取付管の設置
事業対象
　公共下水道管きょ

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1967	－	事業会計	自治事務（その他）	下水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。
総合戦略	―	（施策）

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				
事業とゴールの関連性	水環境改善のため、汚水処理施設の未普及地域において、下水道整備を実施する。								

2 事業コストの状況（千円）

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	70,189	71,152	75,280	70,910	157,821	96,678
	決算	54,116	61,681	73,279	66,948	129,430	101,105
	国・県支出						
	市債	51,410	58,597	69,615	63,600	122,959	96,050
	その他						
	一般財源	2,706	3,084	3,664	3,348	6,471	5,055
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）		35,000	28,000	28,000	28,000	35,000	35,000
人工	正規	5.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		89,116	89,681	101,279	94,948	164,430	136,105

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	08	007750000	02	北部上下水道課	村田　卓史	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容　（Do）

施設整備事業（取付管設置・公共起債対象事業）　取付管設置予定本数　141本
施設整備事業（取付管設置・特環起債対象事業）　取付管設置予定本数　20本
マンホール改良事業（マンホール蓋改良）1路線（繰越）

5 当年度（2024年度）事業評価　（Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度　計画通り

公共起債対象事業申請本数は予定していた本数よりも減となったが、特環起債対象事業申請本数は想定を上回った。
公共起債対象事業　116本　特環起債対象事業　28本
事業継続にあたり、地域ごとの適切な事業規模の考察と試算を実施する。
マンホール改良事業は、令和5年度からの繰越事業となったが完了した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化　（新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

人件費、資材等の上昇による工事費の増加

6 事業の見直し（Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目　現状　小項目　　／　　事業費　現状　人工　現状

各事業における取付管設置本数の見直し。

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目　現状　小項目　　／　　事業費　現状　人工　現状

市内の住宅着工数が減少傾向にあり、引続き事業を継続するにあたり、地域ごとの事業規模を考察し、適切な事業費の確保を実施する。

2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	（管理番号）所属コード	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	09	007760000	天竜上下水道課	新村　浩孝	2025.7.1

政策シート　政策名　02　未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道

予算費目名　09　浜松市下水道事業会計

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野　03　安全・安心・快適

理想の姿（30年後）	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱（10年後）	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策　06　安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

(2) 政策の概要（当年度（2024年度）実施内容）

下水道未普及地域の整備促進及び、既設下水道施設の改築・更新をすることにより、既設下水道施設の適正な維持管理に努める。また、下水道への接続促進を図るため、接続勧奨を引き続き行っていくこと、及び宅内排水設備工事の事前相談に対する指導や使用に関する監督・指導を行う。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									

2 政策コストの状況（千円）

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	261,900	285,457	241,831	230,667	238,556	351,533
決算	229,283	259,857	217,801	220,387	216,357	323,860
人件費(報酬等)(A)						
人件費（人工分）(B)	58,200	52,000	52,000	45,800	45,800	45,800
年間経費(決算+A+B)	287,483	311,857	269,801	266,187	262,157	369,660

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
下水道人口普及率	%	目標	81.2	81.3	81.4	81.5	81.7	82.0
		実績	81.1	81.3	81.4	81.5	81.7	82.0
汚水衛生処理率	%	目標	90.5	91.6	92.3	93.0	93.5	94.0
		実績	87.1	87.7	88.2	88.6	89.1	89.7
		目標						
		実績						

4 当年度（2024年度）政策評価

(1) 当年度（2024年度）実施内容

既設下水道施設の改築・更新をすることにより、既設下水道施設の適正な維持管理に努めた。
また、下水道への接続促進及び宅内排水設備工事の事前相談に対する指導や下水道使用に関する監督・指導を行った。

(2) 政策評価（政策の進捗及び課題）

＜進捗＞　計画通り

・下水道の整備では、下水道人口普及率の目標は82.0%に対し82.0%。
・下水道施設の維持管理においては、処理場の包括委託による運転管理を実施し、施設の適正な維持管理に努めた。

（管理番号）

2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	09	007760000	天竜上下水道課	新村　浩孝	2025.7.1

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト（千円）	事業費（千円）	人工				報酬（千円）
							正規	再任用（31h）	再任用（26h）	会計年度（人事課）	
1	浜松市下水道事業（下水道事業費用）	－	○		312,430	298,734	2.0	3.0			
2	浜松市下水道事業（資本的支出）	－	○		57,230	52,799	3.0				
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					369,660	351,533	5.0	3.0			

※人工単価（千円）正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員（人事課予算）2,800

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	09	007760000	01	天竜上下水道課	新村　浩孝	2025.7.1

事業シート　（事業名） 01　浜松市下水道事業（下水道事業費用）

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

管きょ、マンホールポンプ等の管路施設、4箇所の終末処理場及び4箇所の農業集落排水施設の処理場を適正に維持管理することにより、地域の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の保全に資することを目的とする。
下水道事業効果を高めるため水洗化率（接続率）向上を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1967	―	事業会計	自治事務（その他）	下水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。
総合戦略	―	（施策）

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				
事業とゴールの関連性	公衆衛生の向上や公共用水域の保全のため、施設の適正な維持管理や水洗化率向上を図る。								

2 事業コストの状況（千円）

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	179,561	178,617	196,473	199,148	198,449	298,734
	決算	169,964	173,045	189,600	193,203	188,762	287,630
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	169,964	173,045	189,600	193,203	188,762	287,630
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）		20,400	21,200	21,200	24,800	24,800	24,800
人工	正規	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	再任用(31h)	1.0	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0					
年間経費(決算+A+B)		190,364	194,245	210,800	218,003	213,562	312,430

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
下水道水洗化（接続）率（%）		目標	96.2	96.4	96.6	96.8	97.0	97.1
		実績	96.2	96.4	96.6	96.8	97.0	97.1
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	09	007760000	01	天竜上下水道課	新村　浩孝	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容 （Do）

〇管きょ維持管理事業
・管きょ等の下水道施設を適正に維持管理する。
〇終末処理場維持管理事業
・4箇所に点在する終末処理場を適正に維持管理する。
〇水洗化促進事業
・職員による訪問勧奨（電話による）及び郵送での実施

5 当年度（2024年度）事業評価 （Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度　計画通り

・マンホールポンプ、グラインダーポンプ及び管路施設の修繕を実施し、適正な維持管理に努めた。
・4箇所の終末処理場運転管理及び施設修繕を実施し、適正な維持管理に努めた。
・職員による訪問勧奨を市全体で938戸を実施した。これらの取組みにより、水洗化率は、対前年比で0.1ポイント向上し目標とした97.1%を達成した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 （新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

6 事業の見直し （Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目 現状　小項目 現状 / 現状　事業費 現状　人工 現状

浄化センターの運転管理については、包括委託により実施している。
経年劣化に伴う施設の修繕が必要な箇所が多く見られる。
職員による訪問勧奨（電話による）及び郵送を実施した。

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目 現状　小項目 現状 / 現状　事業費 現状　人工 現状

経年劣化に伴う施設修繕について、維持管理により優先順位にて修繕を行っていき、適正な施設運営を目指す。

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	09	007760000	02	天竜上下水道課	新村　浩孝	2025.7.1

事業シート　（事業名） 02　浜松市下水道事業（資本的支出）

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、既設下水道施設の改築・更新をすることにより、既設下水道施設の適正な維持管理に努める。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1959	―	事業会計	自治事務（その他）	下水道法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。
総合戦略	―	（施策）

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性	公衆衛生の向上や公共用水域の保全のため、施設の適正な維持管理に努める。

2 事業コストの状況（千円）

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	82,339	106,840	45,358	31,519	40,107	52,799
	決算	59,319	86,812	28,201	27,184	27,595	36,230
	国・県支出						7,639
	市債	57,700	62,549	14,017	25,313	26,177	23,798
	その他						
	一般財源	1,619	24,263	14,184	1,871	1,418	4,793
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）		37,800	30,800	30,800	21,000	21,000	21,000
人工	正規	5.0	4.0	4.0	3.0	3.0	3.0
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0	1.0			
年間経費(決算+A+B)		97,119	117,612	59,001	48,184	48,595	57,230

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
下水道人口普及率（%）		目標	81.2	81.3	81.4	81.5	81.7	82
		実績	81.1	81.3	81.4	81.5	81.7	82
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	（管理番号）所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	06	02	09	007760000	02	天竜上下水道課	新村　浩孝	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容 （Do）

・施設及び管きょ改築更新事業
　ストックマネジメント計画に基づく改築・更新の実施

5 当年度（2024年度）事業評価 （Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度　計画通り

下水道人口普及率については、行政人口に対する下水道が利用できる人口の割合であり、82%となった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 （新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

6 事業の見直し （Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目 現状　小項目 現状 / 現状　事業費 現状　人工 現状

・浜松市汚水処理10年プランに基づく効率的な下水道整備を実施した。
・施設及び管きょの改築更新の実施をした。

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目 現状　小項目 現状 / 現状　事業費 現状　人工 現状

浜松市汚水処理10年プランに基づく下水道整備、ストックマネジメント対策、総合地震対策等により更なる事業の効率化を図り、社会資本整備総合交付金制度の重点配分等の積極的活用など中部地方整備局との調整を進め、交付金の拡充に努めていきたい。農業集落排水処理施設については、最適整備構想に基づいた各処理場の改築更新を実施しつつ、経費削減を検討していく。併せて、必要に応じて見直しを図っていく。